

学校便り

瀬底っ子

がじゅまる

本部町立瀬底小学校
 幼稚園 瀬底693番地
 TEL(47)2208fax(47)6419
 園児 10名 児童 58名
 職員 17名
 発行：校長 島袋 ゆかり

シュノーケリング体験の舞台裏 安全・安心な本番に向けて

保護者・地域の方々と協働で

6月22日、5・6年生は瀬底ビーチでシュノーケリングの練習を行いました。一週間後に控えたシュノーケリング体験学習の一環で、安心して安全に実施できるように、保護者や保護者OBと共に事前実習を行いました。マスクやシュノーケル、ライフジャケットの着用の仕方や安全な使用方法の説明を受け、実際にビーチの浅瀬で浮いたり呼吸の仕方を練習。5年生は初めての子どもが多かったため、最初は不安いっぱい表情でしたが、いざ海に入り説明通りに実践すると、すぐに慣れ楽しんでいました。今回の練習では、瀬底ビーチのスタッフのご厚意で実習場所やシャワーを使用させていただきました。指導と見守りを、保護者OBの千野精一郎さん・祐子さん、関口正樹さん、保護者の武方菜美さん、小久保久美子さんが担任と共に行いました。この実習で子供たちの不安が一挙に吹き飛び、本番へ向けてのモチベーションも高まったようでした。

30日のシュノーケリング本番（学校便り8号にて特集）では、武方雅人さん・関口正樹さん（船長・写真・各種機材）、千野精一郎さん・吉田亮吾さん・木村公人さん（ガイド・写真）、伊豆原啓史さん・西川伸明さん（ガイド）、武方菜美さん・小久保久美子さん・千野祐子さん（サポート）、グッジョブ連携協議会の平方幸夫さん（写真他）、そしてマスク・シュノーケル・フィンなどの提供に木村俊明さんなど、多くの方々がボランティアで協力してくださいました。

子供たちの安全・安心な体験学習のために協力してくださいました皆さんに心から感謝いたします。皆さんの心に、子供たちの感謝の気持ちが伝わっていることを願っています。



保護者・地域と共に子供を育む！

多方面からの支援に感謝

シノーケリング体験学習に係る一連の取組は、多くの方々との連携・協働なしでは実現できませんでした。今年度もコーディネーター役をしてくださった千野精一郎さん、事前学習を5年生に実施してくださった神座森さんには、4月当初から児童の学習に関わっていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

本校が目指す学校は、「保護者・地域に開かれ共に歩む 信頼され魅力ある学校」です。学校は地域の中にあり、教師だけで学校教育が完結するものではありません。子供たちの成長には、保護者や地域の方々の力が必要です。これからも「協働」で子供たちを育んでいきたいと切に思います。

今回の取組において、お仕事でお忙しい中、物心両面から子供たちのためにご協力くださった全ての方々に心から感謝申し上げます。



シノーケリング体験学習終了後の様子

関係者による打ち合わせ会の様子

南富良野町児童との交流 6年生

互いの伝統芸能を披露

新型コロナウイルスで二年間中止となっていた北海道南富良野町の児童との交流が、今年度再開されることになり、6月28日には南富良野町から児童9名、引率5名が本校を訪れました。3校時から給食までと限られた時間ではありましたが、6年生同士でソーラン節やエイサーを披露し合ったり、本校6年生はサンゴ学習の様子をスライドで紹介したり、外国語の時間で学習したふるさとの紹介を英語で行ったりと、瀬底の良いところを沢山紹介していました。

南富良野町の鈴木教育長は瀬底小6年生の発表に感動し、「冬にはぜひ南富良野町を訪れ感動体験をしてほしい」とおっしゃっていました。

